**ドミニカ共和国内政・外交・経済定（２０１４年４月）**

１．内政

1. 新身分証の発給

　２１日，中央選挙委員会は，不正防止措置を施した新しい身分証並びに選挙人証の発給を国民凡そ７００万人に対して始めた。

1. 世論調査

　ア．CID-Latinoamericana両社が合同で行った世論調査によると，メディーナ大統領を国民の９４％が評価，また政権運営については７６％が評価すると回答し，メディーナ大統領に対する評価が依然として大変高い事が確認された。

　イ．３日，メキシコのCosulta Mitofsky社が本年２月に行った欧米，アジア大洋州３０ヶ国の首相・大統領に対する世論調査によると，メディーナ大統領は９０％の評価を得て３０ヶ国の中で最も評価が高い大統領であったと報じた。

1. エネルギー・鉱山大臣の任命等

　２４日，メディーナ大統領は、大統領令１４１－１４を発出し下院議員のペレグリン・カスティージョ氏を昨年７月創設して以来空席となっていたエネルギー・鉱山省の大臣に任命した。また，大統領令１３９－１４によって，ロドリゲス農務大臣が辞任したことからアンヘル・エステベス農業銀行総裁を新農務大臣に任命した。

1. 住宅建設

２３日，メディーナ大統領は，エンリキージョ湖が増水し拡大していることで転居を余儀なくされた家族のために建設された居住区ボカ・デ・カチョンの開所式に出席した。居住区には，５４６家屋が建設され，消防署，病院等も設けられている。総工費２，４００万米ドル。

1. 教育協定

１日，メディーナ大統領は、教員の技能向上，教育課程終了の徹底，教育の近代化を謳った２０３０年までの国家教育改善協定を２００以上の関係機関と締結した。メディーナ大統領は，教育システムを変えるには，システムの根幹を変えなければならないと述べ，そのために今後数ヶ月以内に２３億ペソをかけて５，０００名以上の教員が各々の専門領域を磨くための大学院プログラムを始めると発表した。

1. 図書展

４月２４日～５月５日かけて、第１７回国際図書展が文化広場（Plaza de la Cultura）で開かれた。世界１６カ国から７７名が招待された。今回はパナマが招待国であり、図書展終了後にパナマから６００冊が当国図書館へ寄贈された。

（７）治安関係

ア． １２日，当国麻薬取締局は，米国麻薬取締局協力の下，キュラソー出身者とドミニカ（共）人を逮捕したと発表した。首都を走っていた車両の中から拳銃１丁，数台の携帯電話，約１６万米ドルが押収された。

イ．１３日，検事局は，マリア・トリニダード・サンチェス県（北東部沿岸）のカブレラ市において幼児を外国人へ売買していた犯罪組織網を解体したと発表した。逮捕された数名の内には，イタリア国籍の夫婦もおり，彼らは４ヶ月の幼児を連れて出国するところであった。１万ユーロで売買していたとのこと。捜査関係者によると，犯罪組織は幼児売買に関心を持つ外国人との仲介を行い，時には，関心を持つ外国人が当国へ来訪し，出生したばかりの幼児を自身の子供であると偽って出生届けを提出していたとのこと。

ウ．１４日，麻薬取締局(DNCD)は，カウセド港並びにハイナ港においてペルーとコロンビアから到着した３つのコンテナから合計４８２キロのコカインを押収し，３名を逮捕したと発表した。

エ．２１日，麻薬取締局(DNCD)は，カウセド港においてペルーから到着したコンテナ船から１７８袋，ラスアメリカス空港においてサンマルティン島から到着した飛行機のスーツケース２個から３４袋のコカイン、及びヘロインを押収した。また，同日夜，バラオナ（南西部）沖で米国沿岸警備隊が，航行中のスピードボートから６００キロ相当のコカインを押収し，コロンビア人とドミニカ（共）人を逮捕した。この作戦には，米国，コロンビア，ドミニカ（共）の麻薬取締局が協力した。

オ．２６日，麻薬取締局は，麻薬取引２件を摘発し合計１２万４，５００米ドルを押収したと発表した。１件目は，サントドミンゴ市内において麻薬取引を行うため駐車していた車両から６万２，０００米ドル，携帯電話６台を押収，関係者を逮捕。２件目は，東サントドミンゴ市内のマンションから１００米ドル紙幣で小分けされた６万２，５００米ドルを押収し，住人の女性を麻薬取引とマネーロンダリング容疑で逮捕。逮捕された女性は，米国において麻薬取引で逮捕収監されていた人物の母親であった。

カ．２６日，北サントドミンゴ市において服飾店を経営していた中国人経営者が，二人組の若者に刃物で刺されて死亡，経営者の妻と来店中の中国人が怪我をした。犯人は逃走中。

キ．２６日，北サントドミンゴ市において３３歳の女性が自宅前で何者かに車両から射殺された。

ク．２７日，道路の路肩で車両のタイヤを交換していた７５歳のテノール歌手が，見知らぬ男から拳銃を突きつけられ指輪を奪われた。目撃者によると，加害者は警察の格好をしていたとのこと。

ケ． ２８日，インターポール・ドミニカ（共）支局は，南米から麻薬密輸を行うイタリアマフィア「カラブレサ」の首領を逮捕したと発表した。イタリア国内で禁固１５年の判決受けていたが国外逃亡したことから，イタリア当局から最も危険な国外逃亡犯として国際手配されていた。

（８）チクングニア熱

　ア．４日，厚生省は，サン・クリストバル県ニグア市内でチクングニア熱ウィルス感染者を確認し，当国で初めて同ウィルス感染者が出たと発表した。

イ．２２日，Robert Reid Cabral小児病院（首都サントドミンゴ）に勤務する医師，看護師，検査技師の１７名からチクングニア熱ウィルスが検出され，疾病管理センターが同病院の立ち入り検査を行った。

　ウ．２７日，イダルゴ厚生大臣は，サン・クリストバル県だけでチクングニア熱に感染していると思われる患者が３，６９０名存在し，アト・マジョール県，サントドミンゴ県，首都圏においても確認されていると発表した。

２．外交

1. SICA外相会合

　２３日，ラ・ロマーナ市のカサ・デ・カンポにおいて，当国がSICA議長国になってから２回目のSICA外相会合が開催され，マルティネスSICA事務局長，モラレス外相を含むSICA加盟8ヶ国の外相に加え，特別招待国としてミード・メキシコ外相が出席した。会合では，当国の台湾・中米経済開発基金への正式加盟が承認された他，モロッコがSICA域外オブザーバーとして認められた。

（２）カリブ諸国連合首脳会合

　２９日から３０日にかけて，メディーナ大統領は、第６回カリブ諸国連合首脳会合に出席するためメキシコを訪問し，加盟国に対してハリケーン等の自然災害に効果的に対応するための対話を行う国際会議HOPEFORへの参加を呼びかけた。

（３）台湾の援助

ア．７日，Ping-Fu台湾大使は，緊急電話網９１１プロジェクトに使用される３９０台の警察バイクを無償援助として内務警察省へ供与した。台湾は，当プロジェクトに合計９６０台のバイクを供与する予定である。

イ．１１日，Ping-Fu台湾大使は，緊急電話網９１１プロジェクトに使用される緊急バイク９０台を無償援助として厚生省へ供与した。Ping-Fu大使は，追加で救急車９０台も寄贈する予定であると述べた。

（４）イタリア大使館の閉鎖

　当地イタリア大使館広報担当官は，イタリア政府の財政支出見直しの方針に従い，ホンジュラス，アイスランド，モーリタニア，ドミニカ共和国の大使館が閉鎖される事になったと当地メディアに述べた。在ドミニカ共和国イタリア大使館は，本年１２月３１日をもって閉鎖される予定。

３．経済

1. 国内の経済活動

２９日，エルナンデス労働大臣は，「職場における安全で健康な化学薬品の使用に関する会議」に出席した折り，２０１４年第１四半期にサービス業，観光業，鉱業を中心に約２万４，０００名の新規雇用が生まれたと述べた。

（２）外債発行

　２４日，政府は，ニューヨーク市場で新発国債３０年物を１２億５，０００万米ドル相当発行した。利回りは７．４５％，応札倍率は２．４倍であった。政府は，当国国債の格付けがBであるにもかかわらず，利回りが低く抑えられたことは投資家が当国経済を信用している証左であるとした。

（３）ダイエーの訪問

　１６日から１９日まで，ダイエー，Vient，船商，千葉富里の各々の会社代表が当国を訪問し，政府関係機関，農作物生産者，小売業者等との会談を行った。

1. 鉱業

２１日，行政最高裁判所第２法廷は，ロマ・ミランダを鉱山開発から守るために保護区とするように訴えたNGOの主張を認め，環境資源省並びにファルコンブリッジ社から保護区申請を認めるべきでないとの訴えを却下した。

（５）自動車

７日，フェルナンデス自動車販売協会(ACOFAVE)会長は，２０１３年の輸入新車・中古車販売は２００５年と比較すると３６％減少した旨述べ，販売減少の要因はこの期間に行われた税制改革に拠るとした。現在，政府は輸入車両価格の６３％，貿易協定締結国からの輸入車には５１％を課税していると述べた。また，現在市場に出回っている車両の７１．４％は，製造から１０年以上を経過した古い車両が多いことから，輸入制度の見直しを求めた。

（６）フリーゾーン

ア．２日，メディーナ大統領は，タンボリル（北部）のフリーゾーンに建設された製靴工場Sun Jade International社の開所式に出席した。開所式には，親会社である台湾のHongFuグループのT.Y.Chang社長, Ping-Fu台湾大使, フェルナンデス国家フリーゾーン審議会議長等も出席した。１万１，５００名の雇用を創出し，年間２，０００万足製造する。初期投資は，３，５００万米ドル。

イ．１１日，メディーナ大統領は，カナダ資本縫製業のGilden Activewear社新工場開所式に出席するためサンペドロ・デ・マコリスのフリーゾーンパークを訪問した。新工場開設により新たに２，０００名の新規雇用が創出されるとのこと。投資総額は，１，２５０万米ドル。

（７）コーヒーさび病

　ドミニカ（共）珈琲委員会のフェルミン委員長は，全国の珈琲の木の半数以上がさび病被害を受けていることから本年の収穫は，９２０トンに満たないであろうと述べた。委員会では，これまで１，０００以上の珈琲農園の苗木をさび病に強い苗木に植え替えたが，全国の珈琲の木を植え替えるには，２，３００万米ドル相当必要であると訴えた。

（８）国際関係

ア．２１日－２４日，韓国から８名の訪問団がknowledge Sharing Programのフォローアップの一環で当国を訪問した。このプラグラムには，当国の住宅銀行を輸出銀行へ組織変更するための技術支援も含まれている。Oh訪問団長は，ロドリゲスCEI-RD（ドミニカ輸出投資センター）長官を表敬訪問し，進捗状況の確認を行った。

イ．２１日，中国のタバコ・カカオ専門家９名が，当国を訪問しタバコ・カカオの製造工場を見学し，その技術の高さを確認した。

（９）国際機関

ア．８日，IMFは，世界経済見通しを発表し，当国の２０１４年国内総生産は４．５％成長，２０１５年は微減の４．１％成長すると予測した。

イ．８日，Vaagt国連食糧農業機関(FAO)当地代表は，９日からモンテ・プラタ県（東部）にある教育施設４６校の内２３校をパイロット校としてブラジル政府の技術協力の下，学校給食プログラムを始めると発表した。

ウ．９日，世銀は世界開発指標を発表した。右によると，当国の２０１２年の貧困率は４０．９％となり，２０１１年の４０．４％から微増した。都市部の貧困率は３６．８％，地方の貧困率は４９．４％となった。また，世界２２３ヶ国における電力送配電にかかる損失調査結果では，当国の損失割合は３０％となり，ボツワナ（５６％），ハイチ（５５％），コンゴ(４６％)，イラク（３５％），ネパール（３４％）に続いて高い損失割合となった。

エ．２９日，FAOは，中米・ドミニカ共和国におけるコーヒーさび病被害に対する中期の対策プロジェクトを開始した。５０万米ドルの予算で，さび病に強い珈琲の木への植え替え，さび病早期警告システムの導入，病害虫の管理等を行う予定。

（１０）航空

１５日，Seaborne Airlinesは，新たにプエルトリコのサンフアンとサントドミンゴを結ぶ路線に新規就航をした。これにより，Seaborne Airlinesは，サンフアンとドミニカ共和国の４都市（サントドミンゴ，ラ・ロマーナ，プンタ・カナ，サンティアゴ）を結ぶことになる。

（１１）その他

　２４日，サダラ・クーリ氏が，(ADOEXPO)総会で新会長に選出された。任期は２０１４-２０１６年。第１副会長はRoig Cacao社のRoig氏，第２副会長はCervecería Nacional Dominicana社のLeón氏，第３副会長は Industrias Nacionales社のVega氏がそれぞれ選出された。（了）